

長期欠席・不登校対策のススメ 17号

令和6年7月発行 岡山県教育庁人権教育・生徒指導課

TOPIC

夏休み前・夏休み中・夏休み明けに行う長期欠席・不登校対策について再度確認をしましょう！

まもなく夏休みを迎えます。夏休み明けは例年、欠席する子どもが増加する時期です。学校全体・学級で何ができるかを考え、対応をしていきましょう。



長期欠席・不登校の児童生徒に対する支援について

(文部科学省委託事業不登校の要因分析に関する調査研究 令和6年3月公表 ※一部抜粋)

不登校の関連要因と方向性について、以下の5点が示されています。

①いじめ被害及び友達とのトラブルの予防

→「いじめ被害の訴え 26.2%」「いじめ以外の友人関係のトラブルの訴え 24.8%」

②教職員の行動、学校風土の改善

→「先生から厳しく怒られた・体罰 16.7%」「先生と合わなかった 35.9%」

③授業改善、学習支援の充実

→「授業が分からない 47.0%」「宿題ができない 50.0%」

④児童生徒の体調、メンタルヘルス、生活リズムへの注目

→「からだの不調、気持ちの落ち込み、朝起きられない等の訴えが7割前後」

⑤背景要因へのアプローチ

→合理的配慮、特別支援教育、保護者支援の必要性



ポイント

夏休み前、夏休み中、夏休み明け



に行えることがないか考えてみましょう！

ヒント

夏休み前

- ☆いじめや友人関係のトラブルで悩んでいる子どもがいないか確認
- ☆子どもの1学期の成長や努力を再評価(個人懇談、通知表配付の際等)
- ☆子どもが明るく楽しいイメージをもって1学期を終える(学級活動・終業式の校長の話等)
- ☆夏休み中の宿題への配慮(子どもが一人でできる質・内容・量であるか、できない場合に相談できる環境や体制が整えられているか)

夏休み中～前半～

- ☆適切なアセスメントの再実施(複数の教職員で実施、1学期の評価と2学期の実現可能な目標の設定、SC・SSWの見立ての記入、特別支援教育 Co.からの助言等)
- ☆関係機関や保・幼・こ・小・中連携(きょうだいの1学期の状況を確認、合同ケース会議の開催等)
- ☆研修の実施(生徒指導提要、合理的配慮、特別支援教育、起立性調節障害、自立応援室等)
- ☆支援対象者リストの分析(前年度との比較を含む)
- ☆不登校対策チェックリスト15を活用した、学校の不登校対策に係る支援体制の見直し

裏面へ続きます

夏休み中～後半～

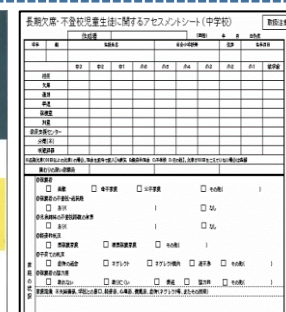
- ☆2学期当初の対応の確認と校内支援マニュアルの教職員への再周知
- ☆「誰もが通いたくなる魅力的な学校」について教職員で再度方向性を確認(学校教育目標の確認)
- ☆教職員の行動、学校の風土(学校のきまり・校則を含む)で見直すことがないか検討
- ☆自立応援室の環境整備
- ☆気になる子どもや家庭へのはたらきかけ(宿題に関する相談、登校に対する不安はないか連絡)
- ☆1人1台端末で心の健康観察(アプリ、google フォーム、google classroom 等)の実施

夏休み明け

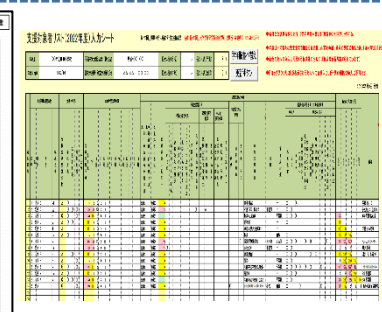
- ☆欠席状況の把握(初日が特に重要。いつもより早く把握し、迅速に対応。)
- ☆登校したことに対するねぎらい(全校の子どもに校門で、靴箱で、教室で。気になる子どもや保護者には特に)
- ☆2学期の見通しを明るく楽しくする話(始業式の校長の話、教室の担任の話、校内の会話の中で)
- ☆子どもの様子の確認(服装、持ち物、ケガや病気、夏休みの過ごし方、不安な事はないか等)
- ☆「分かった」「できた」が実感できる授業の実施(達成感が味わえる内容、活躍できる場面の意図的な設定、ペア・グループ学習の際の配慮)
- ☆安心できる学級・居場所であることの再確認(友達と過ごすことの良さを味わえる仕掛け、自己存在感の感受、自立応援室で過ごす安心感の感受)



岡山型
長期欠席・不登校対策
スタンダード



長期欠席・不登校生に対するアセスメントシート(中学校)



支援対象者リストの活用方法



岡山型
長期欠席・不登校対策
スタンダード
増補版

○長期欠席に対する基本的な対応

○適切なアセスメントを行うためのツール

○支援対象者リストの活用方法

○自立応援室の設置、運用方法 等



岡山県教育庁人権教育・生徒指導課



起立性調節障害
対応ガイドライン



生徒指導提要



通常学級の
特別支援教育ガイド

○起立性調節障害(OD)への対応

○生徒指導に対する基本書

○特別支援教育に関する対応

岡山県教育庁人権教育・生徒指導課

文部科学省

岡山県教育庁特別支援教育課

Mini 研修

学校や学級で何を行うことができますか？話し合ってみましょう！

まとめ

夏休み明けに欠席が増加する子どもがいることを前提に、夏休み前後にできることを整理し、子どもたちが安心して登校ができるように対応を考えましょう。